

家畜審査（繁殖和牛）を見学しました。

平成23年9月28日（水）



初めて、家畜審査会場に行きました。開会式は、子牛の競りの会場であり、今回、繁殖牛を出品された58人及び関係者が出席されていました。審査前の自慢の牛の手入れを熱心にされていました。(写真下)





審査会場は、熱気にあふれていました。県内各地区から、出品された繁殖牛が、各地区4頭ずつセットで並べられて、審査が始まりました。5年に1回全国大会が開かれるそうです。来年度、長崎であり、前回、宮崎県は「日本一」になったということで、口蹄疫をへて、「もう一度奪え 日本一」のスローガンの下、開催された審査会でした。それだけに、みなさん、真剣そのものでした。





西諸地区の牛4頭の審査の様子です。どの牛も、しっかり手入れされ、見事なものでした。



生まれたばかりの子牛が、母牛の横に連れて来られました。生後1月ぐらいだそうです。今回、会場に2種類の「のぼり」が、数多くあげられていました。それらは、本校商業科の先生の製作によるもので、農業と商業が連携したと言えます。今後も、さらなるコラボに秀峰は取り組みます。